

清友

No.143

2021年7月
(2021年6月29日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



南アルプスの女王
仙丈ヶ岳山頂と薮沢カール



世界同時五輪反対行動の一環として取組まれた
NOlympicDay6.23 都庁前集会&新宿デモ



中止だ! 東京五輪 感染五輪反対!

日本のメダルラッシュ確実

東京五輪は日本選手のメダルラッシュになるでしょう。

有力選手の不参加や、猛暑・時差ボケに慣れる時間の不足、行動制限など、外国の選手に著しく不利な環境となるコロナまん延下の開催は、過去のあらゆる国際スポーツ大会

東京のコロナ感染は、「緊急事態」を「まん延防止」に変更した6月21日以前から、リバウンド傾向でした。オリ・パラをやる状況でしょうか。

コロナ感染爆発も確実

秋の総選挙で長期政権の足固めをしたい菅首相は、医療関係者等の「懸念」を顧みず、オリ・パラ強行に前のめりです。有観客のオリ・パラで盛り上げれば盛り上がるほど、人の流れが増え、感染拡大します。猛暑の夏に医療崩壊が引き起こされ、助かる多くのいのちが奪われるでしょう。さらに、世界各国から持ち込まれるコロナ株が五輪株に変異、特にコロナ対策が不十分な国で猛威を振るうでしょう。

次々と「五輪反対」の声

東京五輪開催予定日1カ月前の6月23日、都庁前で「世界同時五輪反対行動」が取り組まれ、1千人近い人が集まりました。「やってる場合か! 中止だ! 中止!」。

「パンデミック五輪」強行という無謀に抗し、医療関係団体等も次々と声を上げています。オリ・パラやメロ!

7月4日の都議会選挙では、五輪反対の声を集めましょう。



定期総会は書面開催

9月「学習会」、10月に「もんじゃの会」開催を計画、11月に日帰り旅行を検討

コロナ禍により、昨年2月実施の「演芸鑑賞会」の後、学習会を除き、すべての会の行事を中止せざるを得ませんでした。オリ・パラ強行によりコロナ感染が爆発し、秋になっても治まらないという懸念があります。希望的観測は捨てずに、秋の行事の検討を進めています。

9月に学習会開催 テーマは幹事会で

春の学習会は実施できませんでしたので、秋の学習会は行いたいと思っています。テーマは幹事会で決めますが、総選挙の時期も考慮した政治課題か、10年経った原発事故の関連などを中心に検討するつもりです。

10月「もんじゃの会」 是非やりたいですね

「佃・月島探訪ともんじゃでランチ」は、昨春秋、今年春と

2回断念しました。参加者が多いと見込まれ、是非やりたい行事です。イメー



11月に親睦旅行 12月にも何らかの行事

親睦旅行は、14年まで毎年行っていました。15年以降、18年に開催できただけで、参加希望者不足で中止しています。原因は、会の企画内容が会員の求めるニーズに合わなくなってきたということですが、

コロナの状況から、開催には難しい面もありますが、日帰り旅行も視野に検討しています。

また、親睦旅行との兼ね合いもあります。12月にも何らかの行事ができればいいなと思っています。検討を始めています。

東京清掃 組織集会

「自粛」しても「萎縮」はしない

支部・本部の有機的な取組みの強化へ

6月20日に、東京清掃の第45回組織集会が日本教育会館一ツ橋ホールで開催されました。

「緊急事態宣言」下なので、半日単位の開催となりました。

労組の原点を考える職場報告

集会は2部構成で、第1部の目的は、職場の現状や問題点を率直に報告してもらい、組織強化のために何が必要かを考える場とすることでした。

報告は、一組本庁支部より「足立工場支部再建の経過」、杉並支部の「区移管以降止まっている新規採用獲得へ向けた取組み」、品川支部の「仲間の声を聴き全員で取組むことの必要性」、本部青年部「コロナ禍での歩みと青年部が直面する課題」でした。

みな率直で真剣さを感じ取れるものですが、特に、青年

第45回 組織集会 東京清掃労働組合 2021年



報告する青年部役員

広い会場で席間を空けての開催

小迫現業局長の元気な講演

第2部は自治労本部小迫現業局長の講演「今こそ団結！労働組合の重要性と今後の活動」。自身の体験を交えて、組織内国会議員の重要性、現業労働組合の果たすべき役割、東京清掃への期待等を元氣にお話しされました。

現役、特に若い人たちから元氣をもらった集会でした。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」と、「東京電力・柏崎刈羽原発の設置許可取消しを求める署名」にご協力ください。

署名は7月21日までに郵送をお願いします。



日本政府は「核兵器禁止条約」の批准を！

今年は、世界史の画期として記憶されるでしょう。1月22日に核兵器禁止条約（TPNW）が発効、「核兵器の終わり」へ向けて動き始めたからです。しかし、米ロ英仏中など核保有国はTPNWに反対し、条約に加盟していません。非加盟の核保有国にTPNWは適用されません。また、日本や韓国、豪、NATO加盟国の多くなど核兵器依存国も、TPNWは時期尚早と批准していません。

日本は、TPNWは非現実的だと批判しています。北朝鮮の核開発や中国の東シナ海・南シナ海への海洋進出など北東アジアの安全保障環境が念頭にあるようですが、軍事力増強で刺激し、米に追従するだけの無策な外交では、緊張を緩和させることはできません。唯一の戦争被爆国として日本政府は、核兵器の禁止・廃絶へ、今こそ先頭に立つて世界をリードするべきです。

東京電力に原発を動かす資格はない！

東京電力・柏崎刈羽原発で、テロの標的にもなりうる放射性物質の防護体制の不備が相次いで発覚しました。

このため、原子力規制委員会により是正措置命令が出され、「改善されたとの判断」を受けるまで再稼働できません。柏崎刈羽原発6・7号機は、すでに、再稼働の前提となる原子力規制委員会の安全審査に合格していますが、追加検査を受けることになりました。



東京電力の核物質防護や安全に関する認識の欠如は深刻な問題です。安全に対する決定的認識不足は、福島原発事故を起こした当事者である東京電力が何ら反省もせず漫然と原発を再稼働させようとしていたことを示しています。第2・第3の原発事故を招きかねない東京電力に原発を動かす資格はありません。柏崎刈羽原発の設置許可は取消されるべきです。

東京総行動

**企業・経営者の
不法・不当を許さない！**

総行動が取組まれました。

尾澤孝司さんを返せ！

韓国サンケン労組の解雇撤



東京福祉大前抗議行動

6月25日、コロナ禍での無謀な東京オリンピック開幕まで1ヶ月を切った中、「よってたかつて勝利まで！」の合い言葉のもと、争議支援の一日行動＝東京

回、工場再開を求める闘いに連帯し、池袋の東京事務所前で抗議集会が行われました。

「支援する会」中心メンバーの尾澤孝司さん(退職者会会員)が、5月20日の本社前要請行動中、威力業務妨害で埼玉県警にでっち上げ逮捕、起訴されました。集会に、韓国からライブ中継のメッセージで「尾澤さんの不当起訴勾留抗議」を含む声明が寄せられ、集会参加者による「尾澤さんを返せ」の声が響き渡りました。

東京福祉大は恥を知れ！

東京福祉大学は、「大学運営と教育には一切関与させない」とする19年11月の文科省への「回答」内容を反故にし、中島恒雄元総長を復帰させていました。復帰に伴い再び人権侵害が発生しています。

さらに、中島総長は労組側代理人弁護士への懲戒請求を申し立て、労組組合員への不当な対応に対する損害賠償訴

訟を妨害しようとしています。大学側と中島総長の不法行為を許さず、闘い続けることを大学側に突きつけました。

その他、トヨタ、JAL、日本製鉄、ニチアス、シグマテックなど日本を代表する企業による解雇・不法行為に対する抗議行動支援の取組みが行われました。(箱田修一)

ハラスメント不当解雇

「東京総行動」に新たな争議が加わりました。上智大学のハラスメント不当解雇です。韓国系アメリカ人のクッキ・

上智大学は、ハラスメントによる不当解雇を撤回しろ！



上智大学へ向けシュプレヒコール
クッキ・チューさん(四ッ谷駅前)

さんを解雇しました。

大学の民主化も課題

チューさんは学生から尊敬されており、学生が中心になって、学内で署名活動も行われています。

この争議は、閉鎖的な大学の体質や不安定な雇用体制等の問題解決も争点です。上智大学は不当解雇を撤回し、民主的な大学を創成しろ！

改憲手続法修正案採決強行に抗議

6月11日、参議院本会議で改憲手続法改正案が、多くの市民や法律家団体の反対を押して可決、成立しました。

当日12時から国会参議院議員会館前で開かれた「改憲手続法・重要土地調査規制法反対6・11緊急行動」参加者は、法成立の報告に、怒りのシュプレヒコールを行いました。

改憲手続法は欠陥だらけ

「改憲手続法」の問題点は、日弁連が指摘する8項目①一括が可能な発議・投票方式、②公務員・教職者の運動規制、③広汎な規制を招きかねない買収・利害誘導罪設置、④広報・CMのあり方、⑤発議から国民投票までの期間が短い、⑥最低投票率の規定なし、⑦無効訴訟提起期間が短い、⑧国会各議院の独立性を損ねる合同審議方式に集約されます。

特に問題なのは、(1)金で改憲を買うことが可能なCM規制の不備、(2)低投票率でも成立してしまう最低投票率の規定がないことです。

改憲阻止の闘いを全力で

立憲民主党がCM・ネット広告規制等の「施行後3年を目途に、検討し必要な措置を講ずる」との附則を条件に、法案に賛成したことは問題です。附則に基づく修正がどこまで保障されるか未定です。

「改憲手続法」の問題点は何ら解消されていません。改憲阻止の闘いは、これからも続きます。頑張りましょう。



改憲手続法・重要土地調査規制法反対! 6.11 緊急行動
～「改憲手続法成立」の報に強く抗議～

夫婦別姓から逃げた最高裁

「憲法の番人の役割」を放棄し国会丸投げ

6月23日、最高裁は2015年に引き続き、夫婦同姓を定めている民法は合憲との判断を示しました。東京の3組の夫婦がそれぞれの姓を称する、とする婚姻届を出したのに受理されなかったことを不当だとして申し立てた家事審判に対する最高裁の判断でした。

その決定文は、15年の最高裁判決の「判断を変更すべきものとは認められない」とするだけで、その理由を説明していません。さらに「この種の制度の在り方は、国会で論ぜられ、判断されるべき」と、司法としての責務を放棄して、立法府に丸投げしています。

15人の裁判官の内、4人が違憲とする反対意見を明らかにしていますが、前回の5人から減ってしまっています。国民の世論は選択的夫婦別姓を認める人が多数を占めるようになっていく中で、この世論の動きに逆行する最高裁の判決です。

今回の申立人たちは国家賠償請求訴訟も行っており、私たち夫婦も原告になっていきます。この国賠訴訟も最高裁に行っており、これから判断が出ます。

選択的夫婦別姓を認めるか否かの判断を最高裁は国会にたらい回ししたので、その決着は総選挙でつけるしかありません。(山崎精一)



大天井は吹抜け

最高裁大法廷 (最高裁ホームページより)

オリンピックは中止!

軍事費よりコロナ対策!

「コロナ対策の重大な時期に国会を閉じるな」という野党の会期延長要求を拒否し、6月16日、重要土地等調査・規制法案を強行採決して国会が閉じられました。怒りも冷めやらぬ6月19日、激しい雨の中、国会議員会館前で「19日行動」が行われました。

許しがたい菅政権の暴挙

主催者は、「菅政権のオリパラ開催強行に専門家会議は批判。菅首相の『勝負をかけた』発言は戦前の軍部と同じ思考回路。オリパラは中止すべきだ。今国会は、国民投票法、デジタル法、重要土地等規制法など軍事国家化につながる危険性が高い悪法が次々と通された。軍拡よりコロナ対策を。新自由主義の克服を。菅自公政権から政権交代を勝ち取る」と呼びかけました。

非正規・女性困窮の根を断て

連帯あいさつで、法学者は

「国民投票法はCM規制がなく金で憲法改正が買われる。フェイクニュース対策もなく欠陥だらけ」と指摘、『女性のための女性の相談会』の竹信三恵子さんは、「非正規は主に女性の問題だったが全体化し、コロナ禍で非正規等の困窮化が一層進んだ。特にシングルマザーは悲惨だ。コロナ以前からの問題がコロナ禍で噴出した。軍事費やオリンピックに使う金を困っている人たちにまわすべきだ」と訴えました。



横田基地はいらない!

オスプレイ飛ばすな!

6月12日、東京全労協が呼びかけた「米軍横田基地反対集会・デモ」が行われました。

基地反対運動が監視対象に 横田基地の危険度は増した

集会で、『横田・基地被害をなくす会』は、『重要土地等調査・規制法』で基地反対運動が監視対象になる。当会事務所は基地から650m、対象に入る。デジタル法も問題。防衛省が横田・小牧基地訴訟原告の個人情報収集、民間へ売り渡した事実が発覚している。土地調査法、デジタル法で運動弾圧が行われかねない。横田基地は変貌している。輸送機能中心だったが、オスプレイの飛行、パラシュート降下訓練が繰り返され、多目的利用基地化され、危険度が増した」と指摘、『横田基地の撤去を求める西多摩の会』は「毎月、基地反対で座り込みを行っているが、自衛隊から監視されている。米軍の

降下訓練開始時期から監視が始まった。権力に反対をする運動の弾圧が目的だ」と、自衛隊の基地反対運動への弾圧姿勢を強く批判しました。

横田基地撤去! 沖縄連帯! 基地前でシュプレヒコール

沖縄一坪反戦地主会関東ブロックの発言や、各地の基地反対運動が紹介された後、横田基地前をデモ行進し、「横田基地撤去! オスプレイ飛ばすな!」などを訴えました。

